

早稲田大学 教育・総合科学学術院 教育心理学専修「助教・助手」募集要項

1. 募集人員 1名

2. 任期 2022年4月1日～2024年3月31日

※1回につき1年を上限に、3回に限り任期の延長を認める場合がある。

※資格に関わらず2013年4月1日以降に本学と雇用契約があり、今回の採用日までの間に原則として半年間以上の雇用契約を締結していない期間がない場合は、継続通算雇用契約期間に上限がある。そのため、契約期間や再任用の有無・期間について、上記の期間のとおりとならない場合がある。

3. 職務

(1) 授業の補助に関する業務

(2) 教室・教材等の管理に関する業務

(3) 専修が必要であると認める事務に関する業務

(4) その他教育学部・学科が必要と認める業務

(5) 助教として採用された者（契約の途中で助教に資格が変更された者を含む）は、学術院に設置されている授業科目を担当する場合がある。

4. 就業場所 主として早稲田大学早稲田キャンパス

5. 給与・諸手当・通勤費等 本学規程による

6. 退職金 支給しない

7. 勤務時間等 所定労働日および勤務時間（始業・終業時刻、休憩時間）等は、本学規程による。なお、専門業務型裁量労働制（みなし労働1日8時間）を適用し、研究業務の性質上、業務遂行の手段及び時間配分の決定等については本人の裁量に委ねるものとする。

8. 社会保険 厚生年金、健康保険、労災保険、雇用保険

9. 休日 土曜日、日曜日、年末年始、国民の祝日、国民の祝日の一部に授業を実施することにより設ける臨時の休業日および大学創立記念日。ただし、大学があらかじめ授業を実施すると定めた日を除く。

10. 休暇 労働基準法等法令に定められた休暇および大学が特に定めた日

11. 応募資格

嘱任時に他で本務を持たない者、かつ以下のすべての条件に該当していること。

(1) 修士の学位を取得した者またはこれと同等以上の学力を有する者で、学力および人物の優秀な者

※博士学位を取得している者は「助教」、取得していない者は「助手」として採用する。

※助手として採用された者が助手在任期間中に博士学位を取得した場合には、本学所定の手続きを経て助教に資格が変更される。

(2) 本学助教および助手の職歴を持たない者（※「研究助手」は応募可能）

(3) 専門領域が心理学（教育心理学、発達心理学、臨床心理学、評価測定、障害・神経心理学、学校心理学等）である者

(4) 早稲田大学大学院教育学研究科博士後期課程教育基礎学専攻（教育心理学）、または早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程心理学コース在学者、ならびに同専攻、同コース卒業生

(5) 勤務に関して当教室教員の指示に従える者

12. 応募書類

(1)①早稲田大学履歴書 ②教育研究業績書（※本学所定用紙）

早稲田大学の書式は下記 URL よりダウンロードしてください。

<https://www.waseda.jp/fedu/edu/news/2016/12/07/6113/>

(2)主要論文（3点以内）のPDFファイル。すべてUSBメモリに保存して送ること

(3)【全員】修士課程の修了証明書および成績証明書（※いずれかの証明書に修士の学位取得の旨が記載されていること）

【対象者のみ】博士後期課程の在学証明書または所定の単位を修得し、所要の「研究指導」を受けた旨の証明書

（※博士の学位を取得している場合は取得した旨の証明書を加えること）

(4)大学院指導教員またはそれに準ずる人物の推薦状1通

13. 応募方法

応募書類は書留による郵送とし、封筒には「教育心理学助手応募書類在中」と朱書きすること。

※応募書類の返却は原則いたしません。

14. 応募締切 2021年11月10日(水)必着

15. 応募書類送付および問い合わせ先

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1

早稲田大学 教育・総合科学学術院 上淵寿 宛

（本件求人に関するお問い合わせ先）

教育心理学専修主任 上淵寿 まで

E-mail: uebuchi@waseda.jp

16. 選考方法書類選考

（1月中旬ごろまでに本人宛に通知文書を発送いたします）

早稲田大学は、ダイバーシティ&インクルージョンの実現を推進しています。教員採用・昇進の人事審査において、性別、障がい、性的指向・性自認、国籍、エスニシティ、信条、年齢を理由とするいかなる差別も行わないことを申し合わせています。

以上